

平成29年11月13日
教育課程部会 資料3



高知県におけるカリキュラム・ マネジメントの周知について

平成29年11月13日
高知県教育委員会



平成29年3月改訂 学習指導要領の周知

◆平成20年3月改訂の学習指導要領周知についての課題

- (1) 期間: 全教員を対象にしたため、数年の期間が必要となり、スピード感に欠ける。
- (2) 方法: 参加者に主体性を持たせるため、事前に「言語活動の充実を目指した学習指導案を作成するようにしていたが、学習指導案だけでは、授業のイメージが持ちにくい。

◆平成29年3月改訂の学習指導要領周知について

- (1) 期間: 平成29年度内に全教員を対象に周知する。
- (2) 方法: 「理論編」・「実践編」を設けることとする。

(理論編)

全ての教員等に新学習指導要領の周知を図るため、職階に応じて講義・演習等による周知を行う。また、一つ一つの研修が校内で共有されるよう、演習をシリーズ化するなどの工夫をする。

校長

【開催】4月 【会場】東部・中部・西部
【内容】講義: 新学習指導要領改訂のポイント

教頭・主幹教諭・指導教諭・教務主任

【開催】7～8月 【会場】東部・中部(2会場)・西部
【内容】講義: 総則、**演習:カリキュラム・マネジメント**

研究主任

【開催】6月・11月 【会場】東部・中部・西部
【内容】講義: 総則、**演習:カリキュラム・マネジメント**

教諭

【時期】11月以降
【内容】オンデマンドで研修(各教科・「特別の教科 道徳」・特別活動・総合的な学習の時間)

(実践編)

新学習指導要領の趣旨を踏まえて先行研究を行ってきた指定校の公開授業に各学校から担当教員を参加させる。(1名悉皆) その際、指導主事が公開授業と関連付けて指導・助言を行う。

各小・中学校 教員

・「探究的な授業づくり」等の指定校の研究発表会

各小・中学校 外国語教育担当教員

・外国語教育地域拠点校の研究発表会

各小・中学校 道徳教育推進教師

・道徳科研究指定校の研究発表会

各中学校 数学担当教員

・学力向上総括専門官による訪問校の公開授業研究会

新学習指導要領の周知(カリキュラム・マネジメント)

「説明して終わり」にならないように研修と研修をつなぐ

学校全体で組織的に新学習指導要領研修を実施

6月:研究主任対象

○新学習指導要領の趣旨を理解し、自校のカリキュラム・マネジメントを推進する。

1. 講話「新学習指導要領総則」について
※カリキュラム・マネジメントを中心に
2. 演習
※**教科横断的な視点によるカリキュラム編成**

各学校

○新学習指導要領の趣旨を理解し、自校のカリキュラム・マネジメントを推進する。

1. **研究主任による**伝達講習
2. **教科横断的な視点によるカリキュラム作成**
※教育課程連絡協議会への持参物

8月:教頭・主幹教諭・指導教諭・教務主任対象

○校内におけるカリキュラム・マネジメントを推進するリーダーが一同に会し、新学習指導要領の趣旨を学ぶとともに、演習・協議を通して学校教育目標と全教育活動をつなぐ意義を知り、学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントを推進する指導力を高めることで、各校のPDCAサイクルの充実を図る。

1. 講話「新学習指導要領総則」について
※カリキュラム・マネジメントを中心に
2. 演習
※**各学校で作成したカリキュラム表の点検・改善(人的・物的資源等の活用)**
※**PDCAを確立させるためのマネジメント・カレンダー作成**

各学校

○新学習指導要領の趣旨を理解し、自校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントを推進し、各校のPDCAサイクルの充実を図る。

1. **教頭・主幹・指導教諭・教務主任による**伝達講習
2. **マネジメント・カレンダーを基にしたカリキュラム・マネジメントの推進**

各教科等担当教員対象

○各教科等の新学習指導要領の趣旨を理解する。

1. 公開授業に関わる教科等の学習指導要領の周知
2. 改訂の趣旨を踏まえた指導・助言

各学校

○新学習指導要領の趣旨を理解し、授業改善を推進する。

1. 参加者による伝達講習

カリキュラム・マネジメント演習 「教科等をつなぐ」(研究主任対象)

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国語									
英語									
数学									
理科									
社会									
体育									
音楽									
美術									
総合									
特別活動									
その他									

マネジメントの様子が見える例を紹介

平成28年12月12日 カリキュラム・マネジメント指導者養成研修 講義「カリキュラム・マネジメントの基本とその役割 各地域におけるカリキュラム・マネジメントの取組」(田村知子 岐阜大学院教育学研究科 准教授) 配付資料引用

演習の流れ

- ①自己紹介
- ②カリキュラム表に必要な項目を付箋に書き出す。(1分)
- ③理由を説明しながら、カリキュラム表の上に付箋を貼る。
- ④協議の上、必要な項目及び中心とする教科等を決める。
- ⑤カリキュラム表の中味について協議する。
 - パターン1: 1学期分だけ作成する。
 - パターン2: 自分の専門教科や総合的な学習の時間、道徳、特別活動等で作成する。
 - パターン3: グループ内から1校取り上げて作成する。



カリキュラム・マネジメント演習 「教科等をつなぐ」(研究主任対象)

育てたい資質・能力を中心にしたカリキュラム表を作成

(学校教育目標)
(研究主題)
(資質・能力を伸ばしたい力)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12
国語									
算数									
理科									
社会									
総合									
英語									
音楽									
美術									
体育									
保健									
道徳									
外国語									
情報									
キャリア									
特別活動									
学校行事									

ここに、模擬演習で作成したカリキュラム表を貼る(付箋あり)

付箋に書き出した項目等を説明しながら、外側に貼っていきましょう

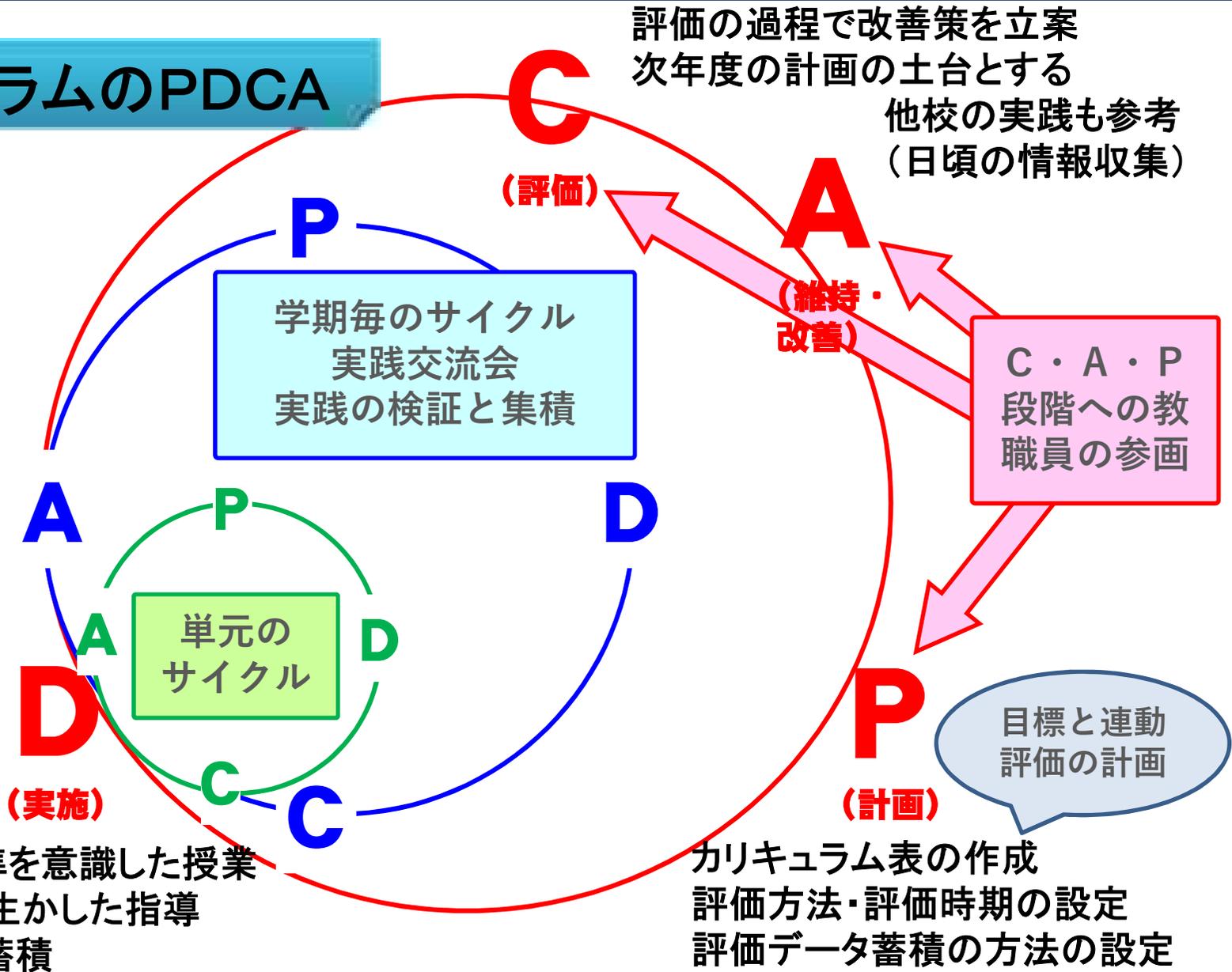
具体的なカリキュラム表の紹介

領域/教科	正午の活動(12:00-12:50)	13:00-13:50	14:00-14:50	15:00-15:50	16:00-16:50	17:00-17:50	18:00-18:50
道徳	正午の活動(12:00-12:50)						
国語	正午の活動(12:00-12:50)						
算数	正午の活動(12:00-12:50)						
理科	正午の活動(12:00-12:50)						
社会	正午の活動(12:00-12:50)						
外国語	正午の活動(12:00-12:50)						
総合	正午の活動(12:00-12:50)						
特別活動	正午の活動(12:00-12:50)						
部活動	正午の活動(12:00-12:50)						
その他	正午の活動(12:00-12:50)						

体験GT: 公民館
(茶道)Nさん (華道)Yさん

講話GT: 公民館
Hさん Kさん Yさん
Iさん Fさん

カリキュラムのPDCA

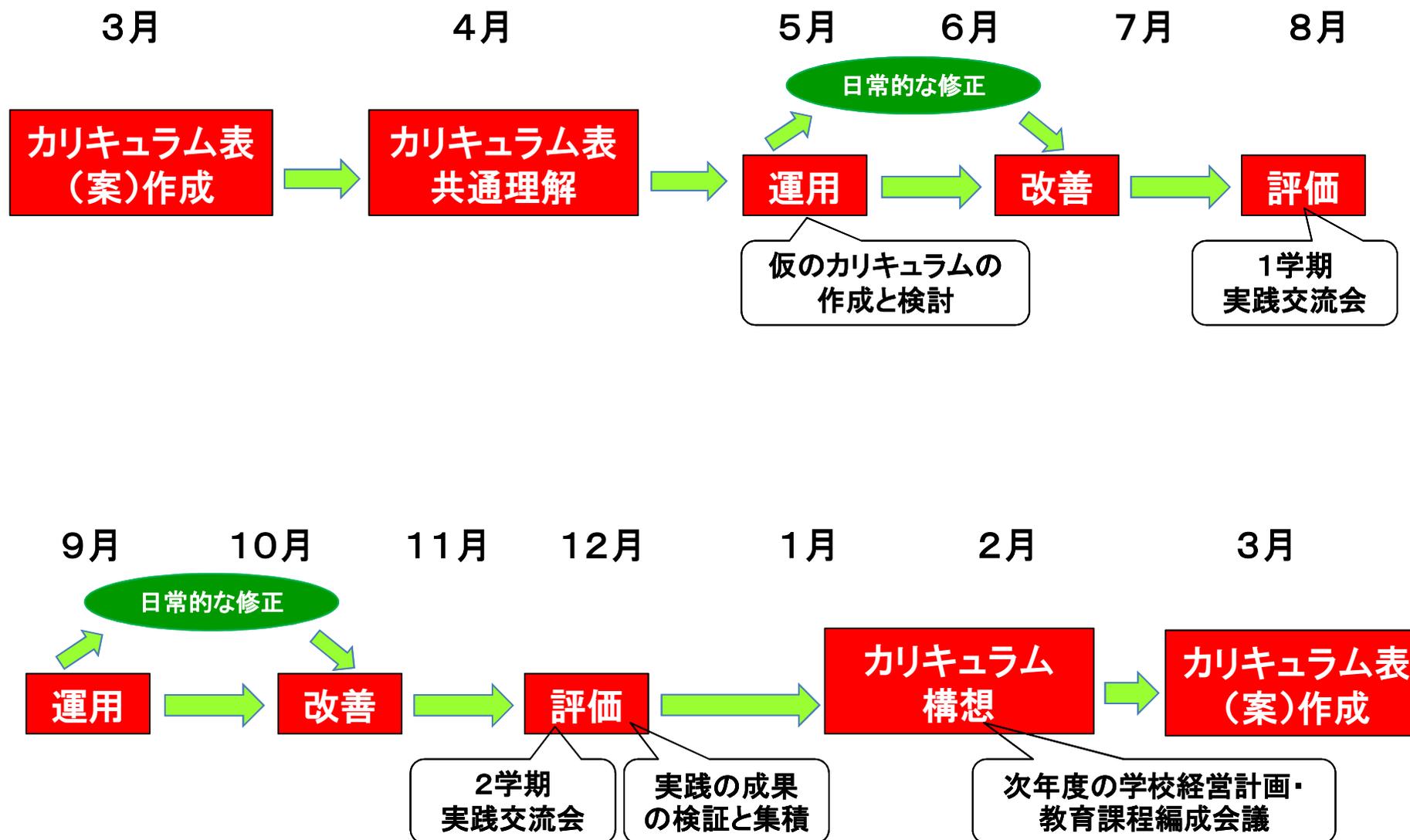


評価規準・基準を意識した授業
 形成的評価を生かした指導
 評価データの蓄積
 研究授業による検証
 子どもによる評価

カリキュラム表の作成
 評価方法・評価時期の設定
 評価データ蓄積の方法の設定

平成28年12月12日 カリキュラム・マネジメント指導者養成研修 講義「カリキュラム・マネジメントの基本とその役割 各地域におけるカリキュラム・マネジメントの取組」(田村知子 岐阜大学院教育学研究科 准教授) 配付資料引用

カリキュラム表の作成と活用のサイクル(例)



カリキュラム・マネジメント演習 「PDCAサイクルの確立」(教頭・主幹教諭・指導教諭・教務主任対象)

実施主体・カレンダー	8月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
校内研修計画	・1学期中間検証				・2学期中間検証	・年度末検証 ・次年度計画	
カリキュラムのPDCA	・1学期の検証と文書 ・2学期の計画作成	← 適用・活用(日表的な検証)→ 個人・学年会 連携状況の確認・研修・学年主任会(月毎)			・2学期の検証と文書 ・3学期の計画作成	・年度末検証 ・次年度計画	・次年度(新)カリキュラム 作成
校長	・カリマサの必要性の 周知、徹底 ・恒久的な部会等の 醸成						
誰が							
教頭	・研修での提案						
主幹	↑ 本会の促進運営 ↓						・次年度カリキュラム 表作成
指導教諭							・次年度カリキュラム 表作成
教務主任							・次年度カリキュラム 表作成
研究主任	・今年度の研修計画 の再考 ※今あるものに関連 付ける					・次年度カリキュ ラム表推進表作成・提 案	
教諭		適用・活用(日表的な検証)→カリキュラム表への書き込み、半年での進捗共有(毎週木曜日の学年会にて) 研究教科については黒元ごと			・3学期の計画作成	・年度末検証	・次年度(新)カリキュラム表 作成・提出
備考	・新卒研修機会(オン デマンド研修と関 連させる)	← 研究発表会参加者による長遠展望(20研修)→校内研修の前後(10分間) →					・学校経営計画との 整合性のチェック

いつ

どのような機会に

何をするのか

誰が

連携状況の確認・研修・学年主任会

演習の流れ

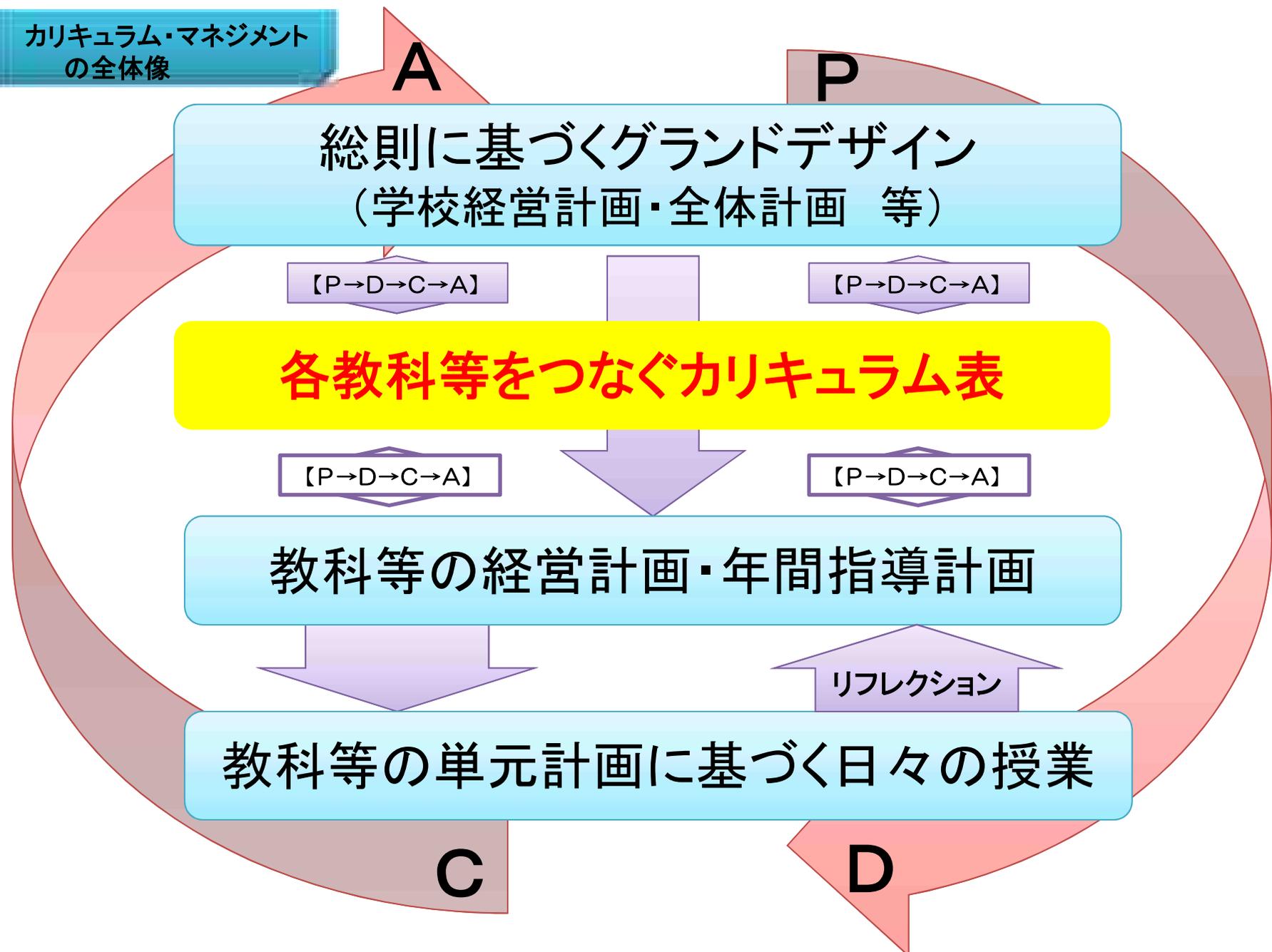
- ①自分のマスを埋める(それぞれの立場ですべきことを明らかにする)
- ②校内研修計画と関連付けながら、「いつ」「どこで」「誰が」「何をするのか」を明らかにする
「いつ」...上記月毎
「どのような機会に」...研究推進委員会・学年主任会・校内研修各部会・ブロック会・学年会・教科会等
「誰が」...左枠
「何をするのか」...カリマネ勉強会・計画・評価・検証・加除修正等
- ③グループで作成したものを発表する。
マネジメント・カレンダーの紹介
※参考にしたい点などを書き込みながら聞く。



演習で作成した「マネジメント・カレンダー」

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
学期初め												
学期中												
学期末												
年間												
学期初め												
学期中												
学期末												
年間												
学期初め												
学期中												
学期末												
年間												

カリキュラム・マネジメント
の全体像



カリキュラム・マネジメントの周知に係るアンケート調査(公立全小・中学校)

所管の教育委員会を通じて1月末までに
 県教育委員会に提出

1 本研修会の内容について、校内で共通理解を図る場をどのような形でもちましたか。

- ① 校内研修等において、配布資料やカリキュラム表を提示して説明や演習を行った。
- ② 口頭説明のみ行った。
- ③ 研修資料を回覧、もしくは配布した。
- ④ まだ、共通理解を図っていない。
- ⑤ その他

①	
②	
③	
④	
⑤	

◆その他の内容は、以下に記述してください。

2 本研修会で作成したマネジメント・カレンダーは、カリキュラム・マネジメントのPDCAを機能させるのに有効でしたか。

- ① はい
- ② いいえ

①	
②	

◆そう考える理由を、以下に記述してください。

3 本研修会の演習をもとにした、カリキュラム表の作成状況を教えてください。

- ① 1学年分作成した
- ② 全学年分作成した
- ③ その他

①	
②	
③	

◆その他の内容は、以下に記述してください。

4 校内研修の内容を生かし、校長の方針の下、組織的にカリキュラム・マネジメントを進めていますか。

- ① 進んでいる
- ② おおむね進んでいる
- ③ あまり進んでいない
- ④ 進んでいない

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	